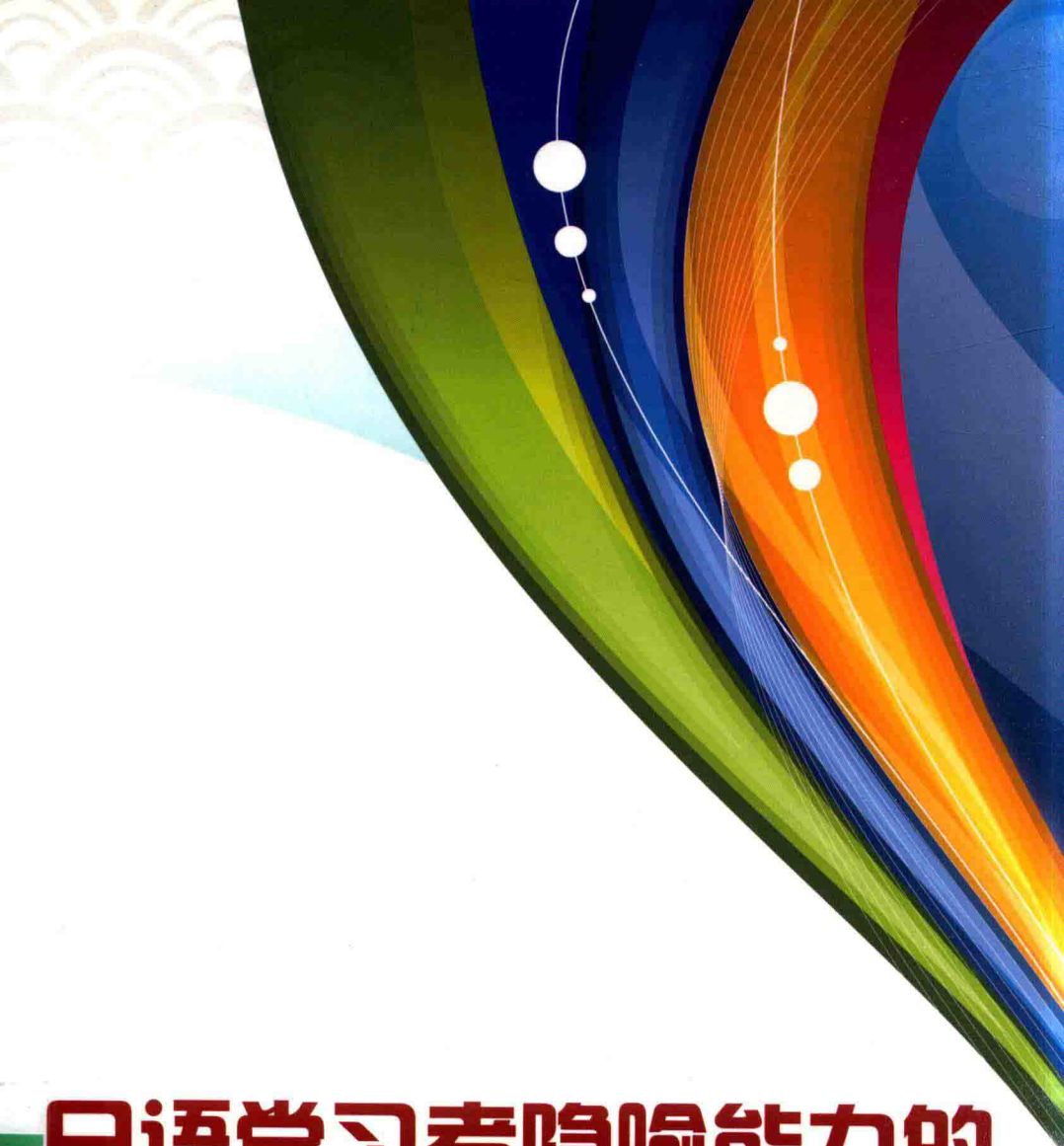




日语学习者隐喻能力的发展和培养

钟勇 著



WUHAN UNIVERSITY PRESS
武汉大学出版社



日语学习者隐喻能力的发展和培养

钟勇 著



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语学习者隐喻能力的发展和培养/钟勇著. —武汉: 武汉大学出版社, 2015. 5

ISBN 978-7-307-15486-5

I. 日… II. 钟… III. 日语—隐喻—研究 IV. H365

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2015)第 066790 号

责任编辑: 谢群英 王雪松 责任校对: 汪欣怡 整体设计: 马 佳

出版发行: **武汉大学出版社** (430072 武昌 珞珈山)

(电子邮件: cbs22@whu.edu.cn 网址: www.wdp.com.cn)

印刷: 湖北新新城际数字出版印刷技术有限公司

开本: 720 × 1000 1/16 印张: 16.25 字数: 232 千字 插页: 1

版次: 2015 年 5 月第 1 版 2015 年 5 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-307-15486-5 定价: 35.00 元

版权所有, 不得翻印; 凡购我社的图书, 如有质量问题, 请与当地图书销售部门联系调换。



前書き

本書は、2013年に九州大学大学院比較社会文化学府に提出した課程博士論文をもとに出版したものです。本書がこのような形で出版できるのは、多くの方々からいただいた助言や支援のお陰です。まず、本書のもととなった博士論文の指導教官の井上奈良彦先生に心より感謝申し上げます。博士論文の作成にあたり、井上奈良彦先生は終始適切なご助言と丁寧なご指導をくださいました。次に、博士論文の予備審査と公開審査の際に心温まるご支援・ご協力・ご指導をくださった東眞須美先生、鍋島弘治朗先生、松村瑞子先生、李相穆先生に厚く御礼申し上げます。また、データ収集や調査実施にあたりいろいろ協力していただいた陳俊森先生、邱為平先生、河崎深雪先生、樸英姫先生、劉歩庭先生、張静先生、閔向梅先生、李榮先生、及び本研究の趣旨を理解し快く協力していただいたデータ提供者や調査対象者の皆様に、心から感謝いたします。最後に、薛華民さんを始め大学院生の方々には常に有益なコメントを頂き、どうもありがとうございます。また、早瀬

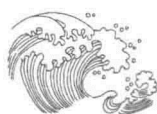


前書き

沙織さんをはじめ日本語母語話者の皆さんにいつも日本語のチェックなどをしていただき、誠にありがとうございます。

钟 勇

2015 年 5 月



図一覽

図 1	本研究の構成	4
図 2	起点—経路—終点のスキーマ	9
図 3	LOVE IS A JOURNEYのメタファーの写像	10
図 4	「ところ」の多義に関するプロトタイプ・カ テゴリ	38
図 5	へ格・カラ格・マデ格	49
図 6	MCの3 要素の相互関係	53
図 7	概念メタファー説明用のプリント	159
図 8	実験群向けのプリント	163
図 9	対照群向けのプリント	164
図 10	MC 養成の4 段階	185



表一覽

表 1	調査票提供者の内訳	82
表 2	調査対象の内訳	90
表 3	各下位テストの正答率	91
表 4	各下位テストの正答率における記述統計の結果	95
表 5	各下位テストの男女別の正答率における記述 統計の結果	96
表 6	各下位テストの男女別の正答率の変動係数	97
表 7	各下位テストの正答率の間のPearsonの相関係数	98
表 8	グループ分けの内訳	114
表 9	各群による作文のメタファー密度	115
表 10	各群による作文のメタファー密度における記述 統計の結果	117
表 11	各群による作文のメタファー密度における多重 比較の結果	118
表 12	日本語学習歴とメタファー密度のPearsonの 相関係数	120
表 13	得られたメタファー表現の内訳	134
表 14	被験者の内訳	137
表 15	グループa、b、cの正答率	139
表 16	グループa、b、cの正答率における記述 統計の結果	141
表 17	グループ1、2、3の正答率	142

表 18	グループ1、2、3の正答率における記述 統計の結果	144
表 19	概念・言語の知識と認知様式の影響力	146
表 20	グループ①、②の正答率における記述 統計の結果	148
表 21	文化知識の影響力	149
表 22	各テスト項目の正答率	150
表 23	授業対象の内訳	158
表 24	選出された未習メタファー表現の内訳	162
表 25	直後テストにおける実験群の正答率	167
表 26	直後テストにおける対照群の正答率	168
表 27	直後テストの正答率における記述統計の結果	169
表 28	遅延テストにおける実験群の正答率	171
表 29	遅延テストにおける対照群の正答率	172
表 30	遅延テストの正答率における記述統計の結果	173
表 31	両テストにおける各未習メタファー表現の正答率 ...	174



略号一覧

暗記法：暗記を中心とした指導法

認知法：応用認知言語学的な指導法

CET: College English Test

CF: Conceptual Fluency

J-MC: Japanese-Metaphorical Competence

J-MD: Japanese-Metaphorical Density

JC-MC: Japanese & Chinese-Metaphorical Competence

JC-MD: Japanese & Chinese-Metaphorical Density

MC: Metaphorical Competence

MD: Metaphorical Density

TEM: Test for English Majors



目 次

第1章 序論	1
1.1 本研究の背景	1
1.2 本研究の目的と意義	3
1.3 本研究の構成	4
第2章 先行研究及び本研究の課題	6
2.1 はじめに	6
2.2 概念メタファー理論	6
2.2.1 概念メタファー理論の誕生と発展	6
2.2.2 概念メタファーの基盤	16
2.2.3 概念メタファーの種類	18
2.2.4 概念メタファーと文化	28
2.2.5 概念メタファーの実在性	34
2.3 応用認知言語学	35
2.3.1 認知言語学の概要	36
2.3.2 応用認知言語学の台頭及び日本語教育における応用 認知言語学研究	45
2.4 MC 研究	50
2.4.1 MCの定義	50
2.4.2 MCの重要性	54
2.4.3 MCと概念的流暢性	56



目 次

2.4.4 外国語学習者のMC 発達に関する研究	59
2.4.5 外国語学習者のMC 養成に関する研究	67
2.4.6 外国語学習者のMCに影響する要因の研究	72
2.5 先行研究のまとめ及び本研究の課題	74

第3章 MCの構成要素の視点から見る中国人日本語

学習者のMC 発達	77
3.1 はじめに	77
3.2 研究方法	78
3.2.1 MCテストの作成	79
3.2.2 MCテストの実施と処理	90
3.3 結果と考察	91
3.3.1 日本語を専攻とする上級生のMC 発達の現状	91
3.3.2 MC 発達における性差	96
3.3.3 MCの構成要素間の相関性	98
3.3.4 まとめと考察	99
3.4 第3章のまとめ	101

第4章 概念的流暢性の視点から見る中国人日本語

学習者のMC 発達	103
4.1 はじめに	103
4.2 研究方法	105
4.2.1 作文データの収集	105
4.2.2 メタファー表現の選定と分類	108
4.2.3 メタファー密度の算出	111
4.2.4 データ分析方法	113
4.3 結果と考察	114
4.3.1 中国人日本語学習者のMC 発達の現状	115
4.3.2 MC 発達への母語知識の影響	121
4.3.3 まとめと考察	123
4.4 第4章のまとめ	124

第5章 中国人日本語学習者のメタファー表現理解に 影響する要因	126
5.1 はじめに	126
5.2 研究方法	127
5.2.1 メタファー表現理解テストの作成	127
5.2.2 テストの実施と処理	137
5.2.3 分析方法	138
5.3 結果と考察	138
5.3.1 母語に基づく概念・言語の知識とメタファー表現 理解の関連	138
5.3.2 メタファー基盤に関わる認知様式の知識とメタファー 表現理解の関連	142
5.3.3 概念・言語と認知様式の知識の影響力	145
5.3.4 文化知識の側面からの影響	147
5.3.5 質的分析及びその示唆	150
5.3.6 まとめ及び日本語教育への提言	153
5.4 第5章のまとめ	154
第6章 中国人日本語学習者のメタファー表現理解力 の養成について	156
6.1 はじめに	156
6.2 研究方法	158
6.2.1 授業対象	158
6.2.2 授業準備	158
6.2.3 授業実践	165
6.2.4 テストの実施と処理	166
6.3 結果と考察	166
6.3.1 直後テスト	167
6.3.2 遅延テスト	170
6.3.3 未習表現理解の詳細及びその示唆	174



目 次

6.3.4	まとめと考察	177
6.4	第6章のまとめ	179
第7章 中国人日本語学習者の総合的なMCの養成に 向けての検討		
7.1	はじめに	180
7.2	中国人日本語学習者の総合的なMCの養成について	181
7.2.1	日本語教育におけるMC養成の位置づけ	181
7.2.2	MC養成と概念メタファーの導入時期と順序	183
7.2.3	MC養成の段階性	185
7.2.4	MC養成のための教材作り	188
7.2.5	まとめ	190
7.3	第7章のまとめ	190
第8章 結論		
8.1	本研究の総括	192
8.2	今後の課題	197
参考文献		
199		
付録1	MCテスト作成のために収集した表現	210
付録2	調査票の概要	221
付録3	MCテスト(初版)	223
付録4	MCテスト(最終版)	230
付録5	作文データ例	234
付録6	メタファー表現理解テスト	241
付録7	直後テスト	244
付録8	遅延テスト	246

第1章 序 論



1.1 本研究の背景

従来の生成文法などの言語学では、言語能力は、言語以外でも観察される比較、一般化、関連付け、参照点能力、ゲシュタルト的な知覚、視点の投影などの一般的な認知能力とは独立した自律的なモジュールとしての言語知識であると捉えられている。しかしながら、1970年代末に誕生した認知言語学 (Cognitive Linguistics) はこのようなパラダイムに対し、言語能力は人間が持っている一般的な認知能力によって動機づけられ、この認知能力の反映として位置づけられるものであるという立場を取り、言語とその背後にある言語主体の認知メカニズムとの関係の解明に大いに力を注いでいる (山梨 1995、山梨 2000)。当初は、認知言語学に関する理論的な研究のみが盛んになっていたが、今世紀に入ってから、その理念や研究成果を外国語の習得や指導に取り入れようとする応用認知言語学の研究が唱えられ、様々な提案がなされ、外国語教育に多くの示唆をもたらしている。応用認知言語学研究は英語教育において始められたが、現在では日本語教育の分野にも及んでいる。例えば、森山 (2006a, 2007, 2008) は「認知言語学的観点を生かした日本語教授法・教材開発研究」という研究課題で、英語教育からの示唆を取り入れながら日本語教育における応用認知言語学研究を全面的に提唱している。



その一方で、認知言語学の重要な一分野としての概念メタファー理論 (Conceptual Metaphor Theory) は *Metaphors We Live By* (Lakoff & Johnson 1980) という著書によって提唱された新しいメタファー理論であり、メタファーに関する従来の考え方をすっかり変えてしまった。概念メタファー理論では、メタファーは具体的な言語表現ではなく、ある事柄を通して他の事柄を理解・経験する概念レベルの現象であるとされている。例えば、日本語母語話者の概念体系には次のようなメタファーがあると考えられる。

《重要は中心、非重要は周辺》^①

- a. 組織の中核
- b. 中心的な存在
- c. 周辺的な問題
- d. 言葉の端をとらえる

《重要は中心、非重要は周辺》の部分は概念レベルのメタファーを表しており、『中心』や『周辺』の概念を通して『重要』や『非重要』の概念を理解・経験する」という意味である。その下に示しているのは、概念レベルのメタファーの存在を裏付ける具体的なメタファー表現例である^②。a~dからは、日本語母語話者は中心・周辺という空間的な概念に基づいて重要性という抽象的な概念をメタファー的に把握しているということを窺うことができる。日常の言語生活において、日本語母語話者は《重要は中心、非重要は周辺》のメタファーに基づいてa~dなどのメタファー表現を無意識に理解、運用している。Lakoff & Johnson (1980) 以降、概念メタファー理論は多くの研究者の注目を集め、メタファー写像 (metaphorical mapping) の理論、プライマリー・メタファー

① このメタファーは筆者がまとめたものである。以降、特に説明がない場合、出典を付していないメタファーの例や例文はすべて筆者による。

② 以降、日本語のメタファーはすべてこのように表記する。



(primary metaphor)の理論、更に、身体性メタファー理論へと、新たな発展を遂げ続けている。外国語教育の分野においても、メタファーと第二言語習得の関連性が次第に認識され議論されてきている。更に、近年の応用認知言語学的アプローチの発展にしたがって、概念メタファー理論は外国語教育にも応用可能であるとされ、その知見が数多く外国語教育の現場に応用されてきている。現在では、外国語学習者の言語能力やコミュニケーション能力に次ぎ、目標言語にあるメタファー表現の理解や産出などに関わるメタフォリカル・コンピテンス (Metaphorical Competence、以降MC)の重要性が高まっており、MCと外国語教育の関係に関して大いに論じられている。また、英語教育などでは、従来の指導法による授業を受けてきた学習者のMC 発達の現状、MC 発達に影響を与える要因、MCと言語能力やコミュニケーション能力との関連性、及びMCの養成法についてかなり考察を進めている。

1.2 本研究の目的と意義

概念メタファー理論と応用認知言語学研究の発展にともなって、外国語習得・教育におけるMCの重要性がますます増してきているが、日中両国の日本語教育では、MCという能力はまだ等閑視されており、日本語学習者のMCの発達状況や養成法などに関わる考察もあまり見られない。そこで本研究では、英語教育やイタリア語教育などからの知見を参考にしながら、中国人日本語学習者のMCに関する研究に取り組み、日本語教育における応用認知言語学研究を推進することを主要目的とする。具体的には、概念メタファー理論などを中国の日本語教育に応用する基礎研究という位置づけで、MCテストや作文データを用いて中国人日本語学習者のMCの発達状況を明らかにするとともに、先行研究や授業実践例をもとに中国人日本語学習者のメタファー表現理解力の養成及び総合的なMCの養成について考察・検討する。本研究の意義としては、主に次の3点が挙げられる。



- ①中国人日本語学習者のMC 発達の現状を解明することにより、中国における日本語教育の実態の一側面を窺うことができる。加えて、中国の日本語教育の今後の在り方や方向性に一定の示唆を与えることができる。
- ②中国人日本語学習者のMC 養成の可能性や有効性に関する実証的な研究や理論的な検討は今後のMCの効果的な養成法の開発を促進することができる。
- ③本研究は中国の日本語教育におけるMC 研究の空白を埋めることができるとともに、中国ひいては世界の日本語教育における応用認知言語学 연구를より一層推し進めることができる。

1.3 本研究の構成

本研究は本章を含めて8章から構成される(図1を参照)。

第1章 序論

第2章 先行研究及び本研究の課題

第3章 MCの構成要素の視点から見る中国人日本語学習者のMC発達

第4章 概念的流暢性の視点から見る中国人日本語学習者のMC発達

第5章 中国人日本語学習者のメタファー表現理解に影響する要因

第6章 中国人日本語学習者のメタファー表現理解力の養成について

第7章 中国人日本語学習者の総合的なMCの養成に向けての検討

第8章 結論

図1 本研究の構成